

NPO法人北海道歩くスキー協会

令和6年度最後 前期・後期

令和6年6月16日～令和7年5月18日



令和6年度最後「塩谷丸山 629m登山」

1、日時：令和7年5月18日(日) 午前10時～15時

2、集合場所： JR塩谷駅

3、天候： 晴れ、気温19℃、湿度63%

1.

4、コース・経路

JR小樽駅発(9:36)⇒JR塩谷駅着(9:46)JR塩谷駅構内(ミーティング後、駅前で参加者集合写真を撮り出発(10:00)⇒約1.7^{km}。(途中の駐車場にトイレあり、塩谷丸山登山口到着、入山届を記入後登山開始(10:24)⇒約2.8^{km}。(最終参加者、頂上到着12:35)⇒強風の為、直ぐに頂上看板前での記念写真後、下山するグループ(4名)、休憩後下山するグループ(3名)の2つに分かれて行動(12:40)⇒休憩、昼食後、後続組下山(13:10)⇒後続組、登山口到着、下山を記入(14:40)⇒JR塩谷駅着(15:00)⇒15:19 小樽行きに乗車

5、参加者： 7名

6、内容：

●週間天気予報では週末雨予報でしたが、当日は天気も良く気温も丁度良いコンディションでした。当初は健脚組とゆっくり組に分けての登山予定でしたが、人数も少ないため一緒のスタートとなりました。登山をしている過程で、健脚組とゆっくり組に自然的に分かれてしまいました。

●**塩谷丸山**は、小樽湾の塩谷海岸からほど近く、緩やかにそびえています。この辺りの海岸はかつてニシンの豊漁で栄え、頂上には大きな錨が奉納されていて、祠には「明治14年越後国渡辺源左衛門」と刻まれています。沖合から良い目印になる山なので、**漁業の安全や豊漁を祈願**し寄進されたものだろう。**丸山**という名は小高い起伏につけられる名称で、道内には61座数えられ、最も多い山名です。塩谷丸山も地図上では単なる丸山だが、区別する意味で地名がつけました。登山道はJR塩谷駅から山地に入り、斜面を登って台地に出ると草原帯、小さな岩峰のある頂上までは1時間30分でした。ここから**遠藤山**（3.4k）、**天狗山**（8.3k）へと**登山道が続き、小樽市内**に出られます。頂上からの眺めは海岸線が素晴らしく、積丹半島、ニセコ連峰、羊蹄山まで一望できるはずでしたが、**生憎の強風の天候、曇り空で霞がかかっていたため眺望できず残念**でした。

●小樽市にある**塩谷丸山**は山頂の**標高629m**と初心者にも挑戦しやすい低山で、札幌近郊で初心者でも日帰り登山を楽しめる人気の山です。

ハイキングコースとしても人気があり、一人ではもちろん、子供から年配の方まで幅広く登山を楽しめるのも魅力のようです。

私達が、登った時には、天気予報の関係もあったのか、ファミリーでの登山者、年配の登山者には出会えず、**年配者は私達だけ**で若い方達のカップルや女性同士の登山者に出会いましたが、まばらで少ない気がしました。

●JR塩谷駅を出発、登山者用の駐車場は後志自動車道が走っている側にあり、自動車道の橋桁を潜り抜け、自動車道沿いに進むと旧火葬場があり、その先に**入山届の箱が設置され、記入後登山開始**。

●登山道は整備されており、地面は乾いて木々の根が滑り止めになって快適に登る事が出来ました。**斜面を登って台地に出ると草原帯**、だんだんと天候が怪しくなってきた雨粒がたまに落ちてき、**ブユ**(ハエ目力亜目ブユ科に属する昆虫の総称、関東ではブヨ、関西ではブトとも呼ばれ、人などの哺乳類や鳥類から吸血する衛生害虫である)と羽アリの大量に悩まされました。**小さな岩峰のある頂上までは急登で、先着の5名の方が待っていました。**

山頂は強風が吹き荒れ、眺望を楽しむ余裕もなく、参加者の登頂記念写真を撮り、**先着の4名の方が下山**しました。

後続の3名は風のない岩場を探し、**休憩と昼食**を慌ただしく行い下山を開始し、無事JR塩谷駅に到着し、予定通りの**15:19発**に乗車帰路に着きました。

先着の4名は**14:00発**のJRに乗車帰路に着きました。



協会最後のイベント・・・塩谷丸山登山

JRで行く登山 塩谷丸山

塩谷丸山登山参加者名簿&スケジュール

参加者 (敬称略) 合計7名

氏 名	健脚	ゆっくり	氏 名	健脚	ゆっくり
井 本 龍 彦			津久井 好 雄		
佐々木 和 男			中 村 進		
清 野 守			前 田 泰 彦		
竹 田 弘					

当初は健脚組とゆっくり組に分けての登山予定でしたが、人数も少ないため一緒のスタートとなりました

「塩谷丸山登山」 スケジュール

(往 路)

8:43 JR札幌駅発



9:28 JR小樽駅着 注:塩谷駅までの切符では、小樽駅では途中下車不可なので、
小樽駅で弁当などは買えません。)

9:36 JR小樽駅発 (JR 小樽駅から先はICカードは使用できません。)



9:46 JR塩谷駅着 (進行方向の1両目の先頭ドアのみ降車できます。)

10:00 塩谷駅集合

10:05 塩谷駅発



約1.7km (途中の駐車場にトイレあり)

10:25 塩谷丸山登山口



約2.8km

11:55 ~ 12:25

塩谷丸山頂上 昼食・休憩 (13:00まで)



14:30 塩谷丸山登山口



(途中の駐車場にトイレあり)

14:45 JR塩谷駅到着・解散

(復 路)

(JR利用)

15:19 JR塩谷駅発



15:28 JR小樽駅着



16:08 JR札幌駅着

(参考) 15:19前後の小樽駅行列車は、
14:00発、
16:17発があります。

塩谷駅～登山道入り口～登山道～頂上(629m)

○ 登山口までの拡大図





JR塩谷駅 出発前のミーティング





JR塩谷駅ホーム・出発前の集合記念写真 参加者7名



ポーズを変えて・・・出発前の7名

雨予報でしたが、当日出発前は天気も良く気温も丁度良いコンディションでした



塩谷駅出発後踏切を渡る・・・まだまだ元気軽快な足取りで・

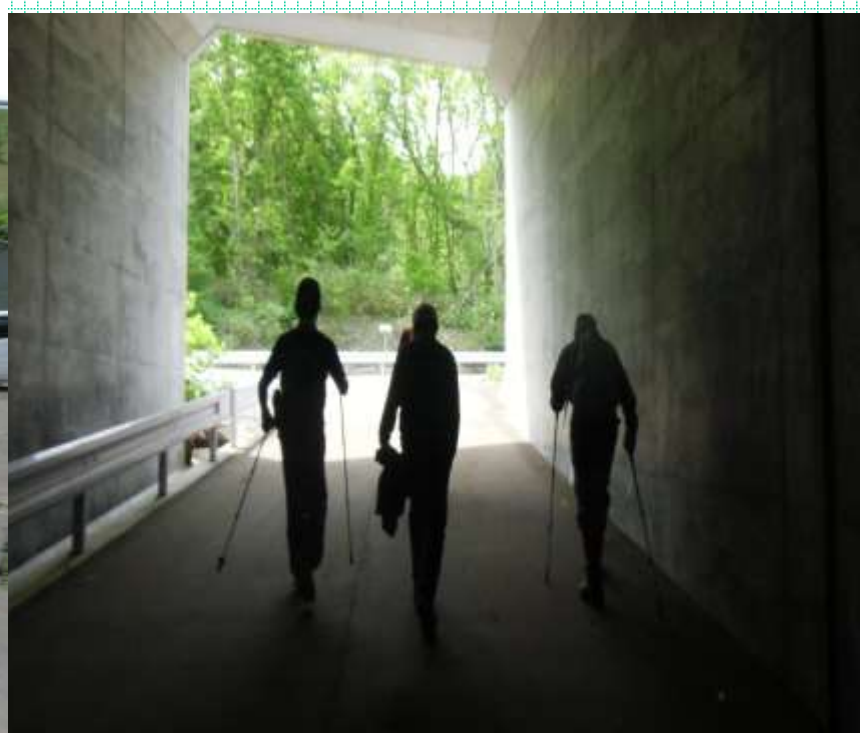




案内板があるのでその通りに進むと登山入口へ



雨が降る予想も晴れて気持ち良く歩く(上)・・・高速道路下トンネルを通過(下)





登山道の標識を見ながら・・・ハイキングのようななだらかな道です





塩谷駅から山頂までは、約4.5kmの距離があります。(途中看板があり分かりやすい)
塩谷駅から登山口までが1.7km、登山口から山頂までが約2.8kmの道のりです。



登山入り口で休憩する一行



登山入り口で入山手続きする運営長

登山開始・・・会話等・・・楽しみながら・・・



木々の根が張っている登山道を・・・頂上を目指して





登り始めはなだらかな道ですが、途中から急な傾斜が続きます・・・
まだ余裕あり・・休憩し更に頂上をに向かいます





傾斜がきつい・・・途中から急な傾斜が続き思ったよりもハードです



広場のような開けた場所で休息し、空間が広がり、周囲の景色を眺めながら奥に見えるのが山頂です。そこから先は、再び急勾配の登りが待ち構えており、石の塊が点在する陰しい道へと変わります・・・



頂上手前では石の塊がゴロゴロ、まだ一部雪が残っていて滑りやすく、気をつけながら 慎重に登っていきます！

頂上は近い





健脚組5名頂上にて・・・天候急変曇り始め丸山特有の強風で気温低下
頂上で持参昼食を取りました・・・



塩谷丸山から遠藤山・天狗山への縦走路の看板・・・平成20年7月6日協会イベント
天狗山～塩谷丸山～塩谷・・・小樽周辺自然歩道ハイキング実施思い出します



更に進んだ奥には海事信仰の跡が残る神棚がある岩場にたどり着きます。この神棚には錨や剣が
奉納されており、かつての漁業の安全祈願の名残だとされています・・・ここから景色は抜群ですが
本日は天候不順で残念・・・



天候急変し海の方に忍路海岸・余市の街並みが霞んで・・・かすかに見えました・・・



強風の中昼食を済ませ景色を堪能する一行



12時35分最終到着者2名頂上に到着



全員登頂・記念写真・・・12時40分

頂上は強風と気温低下の為先着組4名は記念写真後・・・下山開始しました

下山開始・・・各人のペースで・・・



下山は意外と大変だった・・・。登りは頂上を目指す気持ちで頑張れますが、下山は足元に気をつけ慎重に降りる必要あり・・・休憩しながら足元には？？？



エゾエンゴサク



ヒトリシズカ

足元には・・・美しい花を咲かせる「エゾエンゴサク」茎葉はもちろん、花まで食べてしまうことができますと参加者の1人教えてくれる。・・・ ヒトリシズカ等登山の疲れを忘れるほど美しい花々との出会いは、まさに自然のご褒美



フキウド収穫



小樽行き車中

山道の途中でフキ、ウドを収穫(上)・・・塩谷駅14:00ギリギリ間に合いました(下)

『最後に「歩くスキー協会広報部」より』

50年の歴史を刻んだ歩くスキー協会最後のイベントとして、
塩谷丸山に登りました。

長きにわたり、多くの仲間とこのスキー協会で培った**友情と絆**は、
これからも 私たちの心に残り続けます。

今日、曇り空の中でも変わらぬ仲間との時間を噛み締めながら
歩みを進め、道端の花々に癒され、**登頂の達成感**を胸に刻み
ました。50年間の思い出に感謝しながら、これまで支えてくださっ
た皆様へ心からの感謝を申し上げます。

ありがとうございます、そして新たな一歩へ——。



NPO法人北海道歩くスキー協会

令和6年度前期・後期

令和6年6月16日～令和7年5月18日予定



滝野霊園「頭大仏」の見学と駒岡温泉までの ウォーキング

- 1、日 時： 令和7年4月27日(日) 9:30～13:00
- 2、場 所： 札幌市南区
コース： 地下鉄真駒内駅集合受付⇒滝野峠(バス)⇒滝野霊園内散策(頭大仏見学)
⇒滝野霊園⇒駒岡小学校(ウォーキング)⇒保養センター …⇒約5.5km
- 3、天 候： 晴れ、気温 11度(出発時)
- 4、参加人員：11名 (男性 9名、女性2名)
- 5、内 容：
 - 札幌に桜前線が到着した最初の日曜日で早朝は小雨も降りましたが、ウォーキングのスタート時には青空も見えはじめ、歩くスキー協会主催のウォーキング行事には最高のコンディションで開催することができました。
 - 滝野霊園内にある「頭大仏」はもともと外に設置されていましたが、滝野霊園開園30年を記念して「頭大仏殿」を造ることを、世界的に署名な建築家安藤忠雄氏に依頼し、2016年に竣工しました。
安藤氏が考えた設計は大胆にも頭の一部をラベンダー畑の中から出すという方法でした。また、大仏回廊は頭大仏の周りを一周することができ、どこからでも頭大仏を拝むことができます。

- 近年は海外を含む多くの観光客が訪れる観光名所にもなっており、特にラベンダーが見頃となる7月は**大仏とラベンダーの見事な景観**を見ることができます。
 - バスで滝野峠下車後霊園内に入り、こちらにも有名な**モアイ像**前にて集合写真を撮った後「**頭大仏**」ほかを約1時間見学しました。
今回初めて入園しましたが、霊園とのイメージより丘の上にある**景色の素晴らしい広々とした公園**と感じました。
 - 霊園を出発しそれぞれが会話をしながら約**5.5 km 1時間半のウォーキング**を楽しみ、全員が保養センターに到着し解散後自由行動となりました。
- 到着後は早速、**温泉入浴**で疲れを癒し、**ビールと食事**で空腹を満たし、和やかな会話で時間を過ごした後、帰宅の途につきました。

佐藤運営長早めに到着 9時15分迄に全員集合しました



参加者に配布された「ぷるんと蒟蒻ゼリーとアーモンドチョコ」、
疲れたときに「ドウゾー」…ご配慮有り難うございます



早めに並ぶ・・・9:45発
滝野すずらん公園行き
バスを待つ・・・席は満席
になりました



バス停・滝野峠・・観光客も多く下車・・滝野霊園の正門を通過する一行



霊園の正門付近に設置されており、ユニークなモアイ像が並んでいます。
訪れる人々を迎えるシンボルとなっています。



モアイ像をバックに記念写真・・・参加者11名



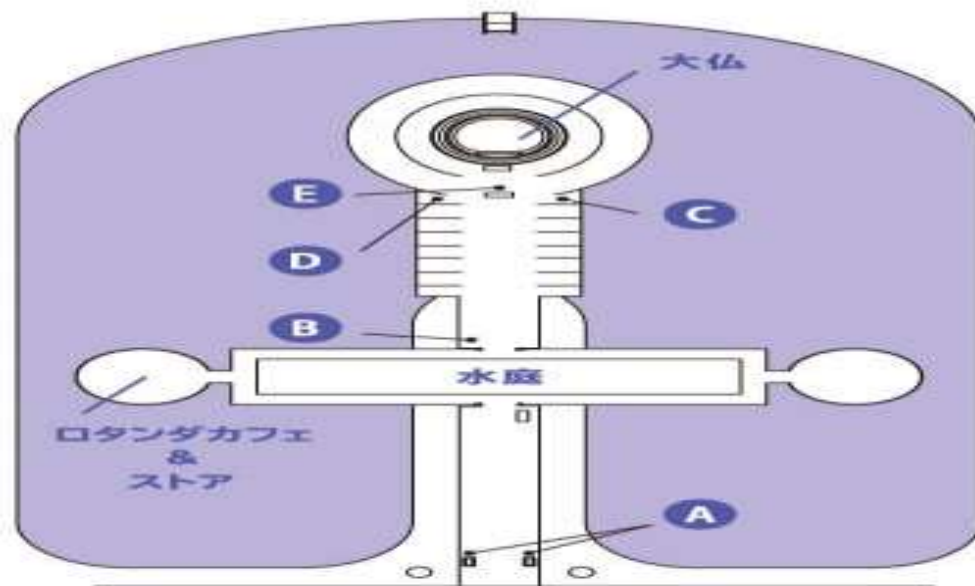
前面に建物見えて来ましたが頭大仏周辺のラベンダーは、7月中旬～7月下旬が見頃で
残念・・・ラベンダーの香りに包まれる季節が待ち遠しいです・・・



頭大仏への入り口手前には、大きな『水庭』が横たわっています。薄く張られた水と、一切の装飾を省いた極シンプルな直線の織りなす造形…

頭大仏殿全体図

- A 手水舎
- B 線香販売所
- C 絵馬・御朱印・おみくじ
- D メッセージ献灯
- E おりん



絵馬・オリジナル御朱印帳・おみくじは、



大仏の頭だけが見えるデザインは、想像力をかき立てる仕掛けとして評価されていてトンネルを抜けて大仏の全貌を目にする瞬間が特別だと感じる人が多いそうです





大仏は高さ13.5メートル、総重量1,500トンという規模・・・静寂と癒し: 自然の音が心を落ち着かせる・・・

頭大仏石像 一夜祈願祭



「頭大仏」は、建築家・安藤忠雄氏の設計によるもので、ラベンダーの丘に囲まれた独特の景観が特徴です。参拝や御朱印、おみくじ・絵馬などの文化的な要素もあり、訪れる人々にとって特別な祈りの場となっています・・・パネルより



隣ににあるお土産・軽食「ロタンダカフェ」で買い物探す一行



「ロタンダカフェ」の窓から頭大仏の頭が見えました



「御霊供養大仏の歩み」は、現在の頭大仏の元となった仏像で、滝野霊園の象徴的な存在です。もともとは供養のために建立され、霊園の中心的な役割を果たしていました。後に、世界的建築家安藤忠雄氏の設計によって「頭大仏殿」として再構築され、現在の形になりました。



AM11時・・・佐藤運営長より駒岡保養センターまでの5.5km・・・詳細説明など・・・



元気に全員出発・・



足取りは軽い・・・



会話をたのしみながら..



ミズバショウの大群ある..駆け寄ったが..時期そうそう残念...



参加者一人「恵開拓記念碑前」のバス停・発見したが何処にあるのか?? 探し
見つけました・・・分かりづらい藪の高台にあり駒岡地区戦後20周年記念碑は、
戦後の開拓を記念するために建てられたものです。碑は、曲線状の3本の脊柱
の上に 「恵」と刻まれた球状の石が載ったデザインで努力を称えるものです。
昭和四十二年九月二十八日 建立」の下に28人の氏名が刻まれていました。



大発見で碑面を見る一行

碑面には「開拓記念戦後開拓二十週年 豊平開拓農業協同組合」

と刻まれてました。

戦後の困難な時代を乗り越えた人々の物語を感じ取ることができました・・・

皆さん曰く「歴史を感じながら散策する素敵な体験になりました」



駒岡保養センターには最終組13時到着・・5. 5kmご苦労様でした



最後のゴールー行を迎える先着組



入浴後の懇親会食べて飲み満足①



少し疲れましたが食事美味しい



入浴後の懇親会笑顔でもくもと食べ飲みます・・②



入浴後の懇親会乾杯③



食事でのアルコールも入り・・・話がまだ尽きません・・・バス停にて



こちらも話
尽きません・・・



14時54分のバス真駒内行
きが来ました・・・本日は皆
さん参加して楽しかった
と言ってバスに乗り・・・帰宅
しました・・・